

カキ生育情報

千葉県
平成27年8月号

平成27年7月の気象

平成27年7月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は、第1及び第2半旬では平年より低く、それ以外の半旬では平年より高かった。月平均気温は24.5℃で、平年及び前年より0.1℃高かった。

7月1日から10日までは毎日雨が降り、降水量は、第1、第2及び第4半旬では平年より多く、それ以外の半旬では平年より少なかった。月合計は297mmで、平年の172%、前年の540%であった。

日照時間は、第1及び第2半旬では平年より短く、それ以外の半旬では平年を上回った。月合計は208時間で平年の119%、前年の102%であった。

梅雨明けは7月19日ごろで、これは平年及び昨年と比べ、共に2日早かった。

表1 平成27年7月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	21.1	22.9	22.5	190	38	25	1	21	21
2	20.8	23.4	23.4	76	36	12	11	23	19
3	25.8	24.6	25.2	0	36	7	56	25	43
4	26.0	24.6	23.5	31	21	12	33	28	18
5	26.0	24.8	25.4	1	21	0	46	33	42
6	26.7	25.8	25.9	0	22	0	61	44	61
平均/計	24.5	24.4	24.4	297	173	55	208	175	203

樹及び果実の生育

7月末のカキの果径は表2に示した。横径は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.52cm、5.80cm、「富有」が5.38cmであった。本年の横径は平年に比べ、「西村早生」、「松本早生富有」ともに5%大きく、「富有」は4%小さかった。

縦径は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.26、4.36cm、「富有」が4.15cmであった。本年の縦径は平年に比べ、「西村早生」は6%、「松本早生富有」は8%大きく、「富有」は2%小さかった。

果形指数は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.30、1.33、「富有」が1.30であった。本年の果形指数は3品種ともに平年より小さく、縦長の傾向であった。

本年の果実の発育は3品種ともに平年よりやや進んでいる。着果量は3品種ともに平年並み又はやや少ない。生理落果については、各調査地のいずれの品種とも平年より少ない。

表2 果実の生育（7月末調査）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	5.37	5.24	5.35	4.31	4.05	4.31	1.25	1.30	1.24
	暖地園研	5.67	5.31	5.10	4.20	3.99	3.99	1.35	1.33	1.28
	平 均	5.52	5.28	5.23	4.26	4.02	4.15	1.30	1.31	1.26
松本早生 富有	市原市	5.81	5.48	5.48	4.44	3.94	4.36	1.31	1.40	1.26
	暖地園研	5.78	5.58	5.58	4.27	4.09	4.10	1.35	1.36	1.36
	平 均	5.80	5.53	5.53	4.36	4.02	4.23	1.33	1.38	1.31
富有	暖地園研	5.38	5.59	5.42	4.15	4.21	4.12	1.30	1.33	1.32

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2014年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2014年の平均

8～9月の作業

摘 果

「西村早生」では、8月下旬頃(着色開始期)から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

枝管理

2次伸長枝は、8月下旬～9月上旬頃に、充実したものを除き全て摘除する。

秋雨は汚損果の発生を助長する。汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝などは、適宜、枝支えやつり上げを行う。

かん水

高温・乾燥の際にはかん水を行うと、果実肥大抑制や熟期遅延、着色不良、糖度低下、翌年の着花不足などの防止につながる。作土の浅い園や乾燥しやすい園では特に留意する。

収 穫

9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まる。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、果実はほんの小さな傷でも黒変しやすいので、ていねいに扱うことを心がける。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

病害虫防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病や落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。9月上旬～中旬にカキノヘタムシガ、フジコナカイガラムシの防除のため、バンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降が防除時期である。防除は千葉県農作物病害虫雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>